

ぼくら、

おめでとう！
再導入第2世代野生魚回帰

尻別イトウの レスキュー隊

尻別川イトウ繁殖地「見まもり隊」活動報告会

とき 2019年5月26日(日曜) 13時半～15時半

ところ 倶知安町文化福祉センター 倶知安町南3東4

主催 尻別川の未来を考えるオビラメの会

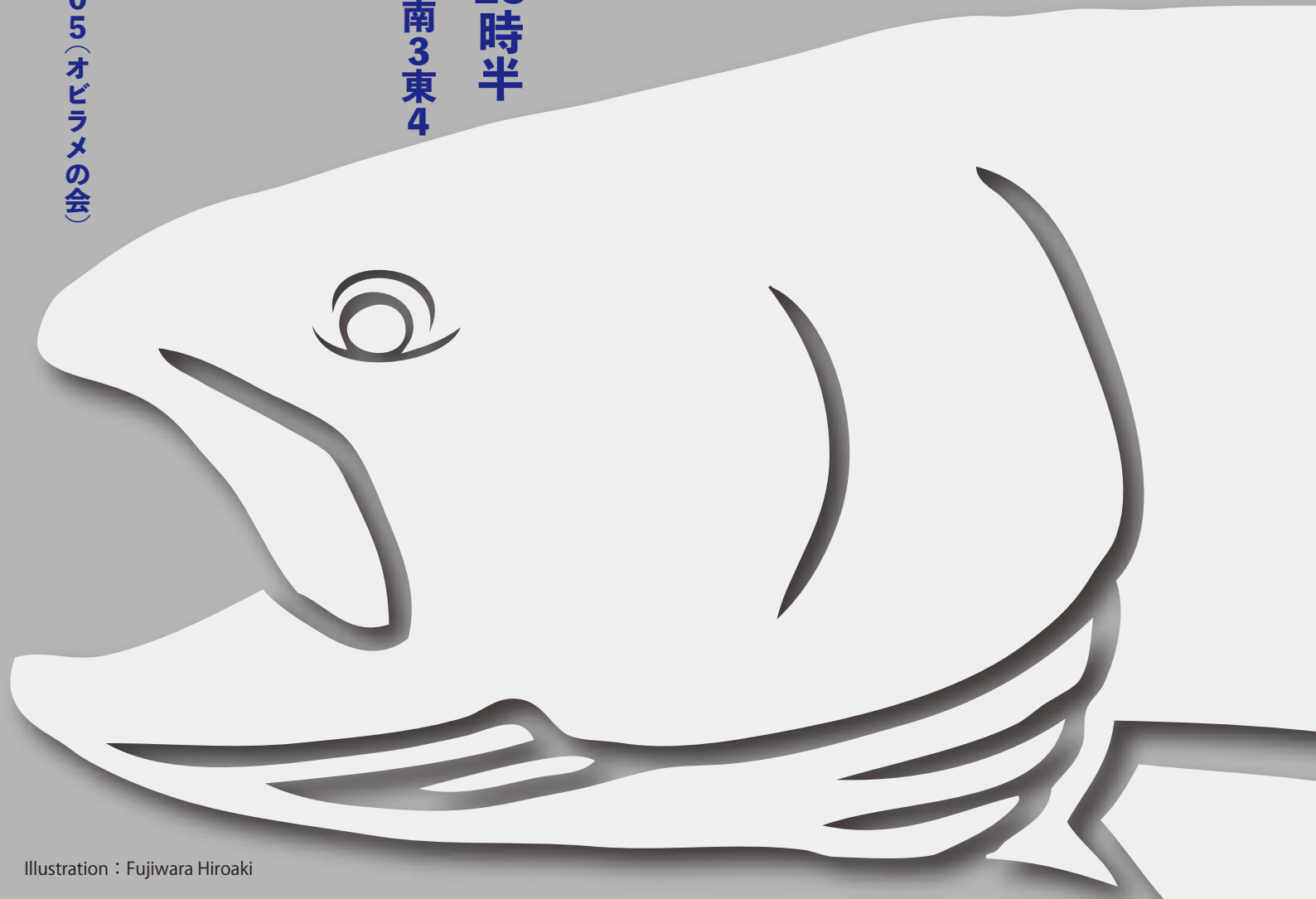
共催 倶知安町

後援 後志地域生物多様性協議会

入場無料

お問い合わせ

TEL 090・8279・8605(オビラメの会)



絶滅危惧種のまもりかた

豊かな多様性を支えるための繁殖環境の保全、啓発活動の推進その他必要な施策に努めるものとする。この場合において、日本最大の淡水魚であるイトウをはじめとする希少な生物に対する保護について特に配慮するものとする。

尻別川は、絶滅危惧種イトウ(サケ科イトウ属)の生息南限です。その「南限のイトウ」=尻別川イトウ個体群(地方名オビラメ)を保全するために、当会は1996年に活動を開始しました。研究機関や地元自治体などと緊密な連携を図りながら、国際自然保護連合の指針に基づいて、2001年から「再導入/補充」と呼ばれる対策に取り組んでいます。ダムによる通行障害といった「絶滅要因」の除去を図ると同時に、尻別川固有の遺伝子を引き継ぐイトウを飼育し、人工採卵/孵化で得た稚魚を再導入して、いったん途絶えた自然繁殖の再開を目指しているのです。最初の実験河(ノ)

流域七町村 尻別川統一条例 第十七条

町は、河川における生物の

「見まもり隊」報告会
2019年5月26日13:30～
倶知安町文化福祉センター
主催/オビラメの会
共催/倶知安町
後援/後志地域生物多様性協議会
入場無料

川に選んだ尻別川支流倶登山川(倶知安町)では、2012年、放流イトウの再帰と自然繁殖が確認され、2019年5月には、この場所で誕生した「再導入第2世代イトウ」たちによる自然繁殖が初めて確認されました。いずれも世界初の快挙で、尻別川個体群の復元に向け、道筋を示すことができたと考えています。また倶知安町町内の別の支流で2010年に再発見された自然繁殖地において翌年以降、24時間体制の「見まもり隊」活動をスタート。2019年まで、9季連続で完全保護を達成しまし

た。さらに、再導入/補充の最終ステップとして尻別川流域の10カ所以上で自然繁殖地を復元すべく、2015年秋にはニセコ町と協働で親魚飼育と環境教育のための「有島ポンド」を建設しました。

1990年代の全流域調査によって、一度は「このままでは絶滅は避けられない」と判定された尻別川個体群ですが、現在はようやく最悪期からは脱け出すことができたようです。今後も生息環境をできるだけ復元し、イトウたちが自力で健康的に世代交代していける豊かな尻別川を取り戻すことを、私たちは目指しています。

イトウは、尻別川のかげがえない宝物。
その輝きをぜひ未来の世代に
引き継ぎたいものです。

尻別川の未来を考える
オビラメの会